

# 2022 年度シラバス

高等学校 3 年



駒沢学園女子中学・高等学校

現代文B (2022 年度)

単位数	3 単位
担当	穂谷野・新村
教科書	明治書院『新・精選 現代文B』
対象生徒	高校3年

1. 授業の目標 言葉を使って理解し、表現する能力の育成

- ①現代文（近代以降の文章）を適切に表現し的確に理解することができる。
- ②伝え合う力を高め、相互にコミュニケーションを図ることができる。
- ③さまざまな角度から物事を捉え、思考を深めることができる。
- ④言語文化に対する関心を深めることができる。

2. 副教材・参考書

大修館書店『常用国語便覧』  
 いいずな書店『漢字検定プラス』（特修漢字テストテキスト）  
 いいずな書店『よむナビ現代文1』  
 筑摩書房『ちくま小説入門』

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ①授業内容を毎時間しっかりとまとめる。記述問題に取り組む。
- ②学習活動・課題にしっかりと取り組む。特にディスカッション・プレゼンテーションなどの表現領域にも積極的に参加し、能力を高める。
- ③提出物は完成した状態で、期限を守って必ず提出する。

4. 宿題・課題・再試について

- ①教材に応じて課題を出す。
- ②事前課題の提出後、特修漢字テストを実施し、定期試験にも出題する。
- ③読書習慣をつけるために、読書ノートを作成し、年4回の交換会を実施する。
- ④様々なジャンルの作品に親しむために、『ちくま小説入門』を使っての課題を出す。

5. 評価の基準について

定期試験の得点（80%）とパフォーマンス評価（20%）により評価をする。

6. その他

授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	中間	評論『＜読み＞の楽しみ』 丸山圭三郎
	期末	評論『異文化理解』 青木保
二学期	中間	小説『舞姫』 森鷗外
	期末	小説『舞姫』 森鷗外
三学期	学年末	小説『舞姫』 森鷗外

## 現代社会 (2022 年度)

単位数	2 単位
担当	壽福, 山本
教科書	高等学校改訂版現代社会 (第一学習社)
対象生徒	高校 3 年

### 1. 授業の目標

現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を培う。

### 2. 副教材・参考書

教員作成プリント

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・現代社会に関する語句には難しいものもあるため、語句の説明をよく聞き、分からない時は質問したり、iPad などを用いて調べ学習をしたりすること。
- ・授業で学んだ現代社会の問題と自分の日常生活との因果関係を見つけていけると良い。
- ・今起こっている問題は未来の問題にも繋がることを意識し、どのように解決していくかを考えていけると良い。

### 4. 宿題・課題・再試について

- ・各学期 2 回ずつ行う論述課題を、パフォーマンス評価の対象とする。
- ・各学期の定期試験の範囲から、小テストを行う。
- ・定期試験の結果が 30 点未満の場合は再試を受験しなければならない。

### 5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点 (90%)、提出物・課題・小テスト (10%) により評価をする。

### 6. その他

授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的人権と法の支配・世界のおもな政治体制・日本国憲法の基本原理</li> <li>・ 世論形成と政治参加・平和主義と安全保障</li> </ul>
	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的人権の保障と新しい人権・国民主権と議会制民主主義</li> <li>・ 内閣と行政の民主化・裁判所と人権保障・地方自治と住民の福祉</li> </ul>
二学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済社会と経済体制・経済主体と企業の活動・市場経済のしくみ</li> <li>・ 経済成長と景気変動・政府の経済的役割と租税の意義・金融機関のはたらき</li> </ul>
	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦後の日本経済の動き・産業構造の変化・雇用と労働問題</li> <li>・ 公害の防止と環境保全・消費者保護と契約・社会保障と国民福祉</li> </ul>
三学期	学年末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地球環境問題・資源・エネルギー問題</li> <li>・ 科学技術の発達と生命倫理・高度情報社会と私たちの生活</li> </ul>

スポーツ(2022年度)

単位数	3
担当	鳥海、樋口、芦田、二見、大地
教科書	アクティブスポーツ
対象生徒	高校3年

1. 授業の目標

スポーツの必要性を十分に理解させ、生涯にわたって各自の健康を考えて、生活に欠かすことのできない重要な一部として位置づけさせる。

2. 副教材

アクティブスポーツ (大修館書店)

3. 学習する上での留意点・アドバイス等

けがや障害を起こさないように準備運動と整理運動をしっかりと行う。  
事故防止に心がけてお互いの安全を確認する習慣をつけさせる。

4. 再試について

実技テストにおいて基準に達していない者は再試を行うこともある。

5. 評価の基準について

選択スポーツとクラス単位の体育の実技試験を合わせて80%、調べ学習を20%で評価を付ける。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	授業内試験	スポーツテスト 50M走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ バドミントン グリップの理解 ストロークの理解 ラリーを組み立てる サービス
二学期	授業内試験	シングルのゲームの進め方 ルールと審判法 リーグ戦で試合を行う ダブルスのゲームの進め方 ルールと審判法 リーグ戦で試合を行う
三学期	授業内試験	グランドホッケー スティック・ボールの理解 スティック・ボールの扱いを習得する 1チーム5名で、7分ゲームを行う

コミュニケーション英語Ⅲ (2022年度)

単位数	4単位
担当	伊澤、稲石、濱田、早川
教科書	Landmark Fit English Com. Ⅲ (啓林館)
対象生徒	高校3年

1. 授業の目標

事物に関する説明文や物語文を読んで概要や要点を捉える、英文速読力を養成する。  
読み取った内容を整理し、それをもとに自分の考えを簡単に述べたり、書いたりする、英語でのコミュニケーション能力を養成する。

2. 副教材・参考書

Landmark Fit English Com. Ⅲ / 予習・予習完成ノート (啓林館)  
英語4技能型テストへのアプローチ② (数研出版)  
WORDBOX / WORDBOX Essential 活用ワークブック (美誠社)

3. 授業を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に教科書にざっと目を通し、何が書かれているのか、トピックの推測をすることが望ましい。
- ・学習した内容は、予習完成ノート、WORKBOOK, プリント類で復習する。
- ・新出語の発音練習や教科書音読の際は声を出して積極的に参加する。
- ・週1回実施される単語の小テストは事前に十分学習してから受験をする。

4. 宿題・課題・再試について

- ・予習完成ノートを毎回の宿題とする。提出状況をパフォーマンス評価の対象とする。
- ・上記以外に必要なに応じてプリントを配布する場合がある。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は原則として再試か課題を課す。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(基本問題50%応用問題30%)、提出物(20%)により評価をする。
- ・以下の表のように観点別評価をつける。

6. その他

授業計画は予定であり、変更する場合がある。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	中間	Lesson 1 Emperor Penguins / 4技能テスト② Test 1 ・速読及び音読練習・意見交換
	期末	Lesson 2 Caffeine 速読及び音読練習・意見交換及び発表 / 4技能テスト② Test 2~3
二学期	中間	Lesson 3 Blood is Blood / 4技能テスト② Test 4~5 ・速読及び音読練習・意見交換及び発表 既習英文の復習
	期末	Lesson 4 Global Water Crisis / 4技能テスト② Test 6~7 ・速読及び音読練習・意見交換及び発表 既習英文の復習
三学期	学年末	Reading My Message to You ・物語の概要をつかむ・必要な情報を読み取る・作者の心情を読み取る・物語を味わう

## 家庭総合(2022年度)

単位数	2単位
担当	七島, 川里, 八木
教科書	新家庭総合 パートナーシップでつくる未来(実教出版)
対象生徒	高校3年

### 1. 授業の目標

- ・日本料理、西洋料理、中国料理の基礎的な食卓作法や盛りつけの知識を習得させる。
- ・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法律、家庭生活と福祉などについて理解させ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて考えさせるとともに、家族の一員としての役割を果たし男女が協力して家庭を築き生活を営むことの重要性について認識させる。
- ・子どもの発達と生活、子どもの福祉などについて理解させ、親の役割と保育の重要性や地域及び社会の果たす役割について認識させるとともに、子どもを産み育てることの意義や子どもとかかわることの重要性について考えさせる。
- ・着衣、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解させ、衣生活の文化に関心をもたせるとともに、必要な知識と技術を習得して安全と環境に配慮し、主体的に衣生活を営むことができるようにする。

### 2. 副教材・参考書

保育教材：アニマルクリーナー（アイセック）

ビデオ教材：楽しい食事のマナー（和食のマナー編、洋食のマナー編）

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・近年の民法改正により変化する家族法について、最新の知識を習得する。
- ・製作実習を通して、基礎縫いの復習をする。

### 4. 宿題・課題・再試について

〈 課題 〉

1 学期、3 学期：レポート

2 学期：保育に関する製作実習作品

### 5. 評価の基準について

1 学期・・・期末試験 : 80% パフォーマンス評価：レポート 20%

2 学期・・・中間試験 : 80% パフォーマンス評価：製作実習作品 20%

3 学期・・・学年末試験 : 80% パフォーマンス評価：レポート 20%

### 6. その他

進捗状況により、パフォーマンス評価基準など変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	期末	2編-1章 おもな会食と食卓作法 基礎的な外食マナーの習得 ・ビデオ教材(洋食のマナー、和食のマナー) 1編-1章 自分らしい生き方と家族 これからの人生に関する家族法の知識を習得させる。 ・共に生きる家族 ・家族に関する法律 ・私たちの生活を支える労働と生活時間 レポート パフォーマンス評価課題
二学期	中間	1編-2章 子どもとかわる 乳幼児期の発育・発達の基礎的な知識を習得させる。 ・子どもを知る ・発達のすばらしさ ・子どもの生活 ・親になることを考えよう ・すこやかに育つ環境 2編-2章 衣生活をつくる 製作実習（パフォーマンス評価課題） 幼児のおもちゃの製作 ・人と衣服のかかわり ・衣服の機能 ・衣服の素材を見てみよう ・衣生活の管理 衣服の適切な手入れ方法を選択できる知識と実践力を養う。
三学期	学年末	2編-2章 衣生活をつくる 衣生活を取り巻く環境について考えさせる。 ・衣生活と資源・環境 ・すべての人が快適な衣生活を ・衣服の形・デザイン レポート パフォーマンス評価課題

## 社会と情報(2022年度)

単位数	2単位
担当	小川 哲平 関 真人
教科書	実教出版「最新 社会と情報」
対象生徒	高校3年

### 1. 授業の目標

- ・情報の収集、処理、発信などの活用能力を身につける。
- ・情報を主体的に活用して、情報社会に参加する態度を身につける。
- ・コンピュータの特性やネットワークの仕組みを知る。
- ・聞いている人が納得するようなプレゼンテーションができる。
- ・スマートフォンの使い方を含めた情報モラルを身につける。

### 2. 副教材・参考書

- ・実教出版「社会と情報 サブノート」

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・基本的なコンピュータ操作を自らできるようにする。
- ・正解を聞いて動くのではなく、正解を求めトライし、エラーであれば改善するプロセスを身に付ける

### 4. 宿題・課題・再試について

- ・再試験対象者は課題を実施する。
- ・1,2学期は期末試験と作品、毎授業で実施する課題提出にて成績を評価する。
- ・3学期は、実技試験と、課題の成績で評価する。

### 5. 評価の基準について

- ・定期テスト 45%
- ・課題 45%
- ・平常点 10%

以上を基準として評価をしていく。3学期は1,2学期の平均点を定期テストとして換算を行う。

### 6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	期末	<座学単元> 5章：情報社会と問題解決 1章：情報社会と私たち <<実技単元>> 3章：表現と伝達
二学期	期末	<座学単元> 2章：情報機器とデジタル表現 <<実技単元>> 3章：表現と伝達 ～情報の収集と集計・データの工夫、表現～
三学期	学年末	<座学単元> 4章：コミュニケーションとネットワーク 5章：情報社会と問題解決 <<実技単元>> 3章：表現と伝達



## 仏教（2022年度）

単位数	1単位
担当	中村 友恵
教科書	『駒沢学園の仏教』 駒沢学園刊
対象生徒	高校3年

### 1. 授業の目標

・駒沢学園の「仏教」の授業の集大成として、今までの知識を礎に、世界に目を向け、様々な宗教について学ぶ。「宗教」に関連する新聞記事を題材に、宗教がらみの紛争問題、争いなどについて触れ、意見を交換・共有し、解決の糸口を見出す。

・「生を明らめ、死を明らむるは、仏家一大事の因縁なり」（『修証義』総序）とある。死についてどのように捉えるかは、すなわち「今をどう生きるか」に直結する。このため、生死について学び、理解を深める。また、単なる知識ではなく、自分の問題として捉えていけるよう、生徒に身近なニュースや新聞記事を提示し、具体的な事例を通して、意見を交換、共有し、よりよい生き方を模索する。

・『仏教と日本文化』の知識と理解を深める。

・他宗教を学ぶことで、多様性を理解し、尊重し、思いやりの心（慈悲心）が芽生えることを期待する。

### 2. 教科書・教材

『駒沢学園の仏教』

### 3. 学習上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

・「世界の様々な宗教」を学び、世界の多様な宗教観や信仰について学ぶと共に、それに基づく価値観や生活習慣について考える。

・マスコミやニュースなどにより、植え付けられたマイナスな宗教のイメージを一度払しょくし、その宗教が本来説いている「平等」や「平和」の精神に目を向ける。

・自分とは違う信仰をしている人をステレオタイプに批判をしたり、恐怖感を抱いたり、あるいは偏見を持ったりするのはではなく、まず「相手を知ること」、そして「分かり合う」ことはできなくとも、違いを受け入れ、尊重する姿勢を忘れないようにする。

### 4. 宿題・課題・再試について

・授業時に行う課題提出状況によりパフォーマンス評価の加点対象となる。

・定期試験の結果が30点未満の場合は課題を行う。

### 5. 評価の基準について

・定期試験の得点（70%）、提出物（30%）により評価をする。

### 6. その他

・授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は既習範囲の復習を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
第一学期	期末	世界の様々な宗教 宗教の概観、宗教とは何か、日本人の宗教観 ・仏教の死生観 ・仏教の伝播 ・チベット仏教 ・世界の様々な宗教について学び、仏教との比較、日常生活の中の宗教行事について知る。
		坐禅実習
		世界の様々な宗教 ・旧約聖書(天地創造) ・ユダヤ教(律法主義とは) ・ユダヤ人の虐殺など  世界の様々な宗教について学び、それぞれの国の文化・国民性など相互理解を深める。 特に宗教がらみの紛争問題、争いなど解決の糸口を考える。
第二学期	期末	坐禅実習
		生命倫理  出生前診断(ダウン症について)、デザイナーベビー、赤ちゃんポスト、ホスピス・緩和ケア・延命治療などの事例や現状を学び、いのちとは何か、尊厳とは何か、考える。
		一神教について ・キリスト教(アガペー、隣人とは、復活とは、三位一体、最後の晩餐など) ・キリスト教の死生観 ・イスラーム(なぜ偶像崇拝を禁じるのか、食事や六信五行など) ・エルサレムについて
第三学期	期末	調べ学習 1学期、2学期で学んできた宗教の知識をもとに、 自分自身で「宗教」に関するテーマを決め、それについて調べ、まとめてレポートにする。

## Komajo Quest (2022 年度)

単位数	2 単位
担当	学年教員全員
教科書	なし
対象生徒	高校 3 年

## 1. 授業の目標

プロジェクトを進め、将来生きていく上で必要な力を身につける。

「思考力や判断力、表現力」「さまざまな人々と協働して学ぶ態度」などの、新しい大学入試や社会で必要な力を、自然に身につけていく。

## 2. 副教材・参考書

なし

## 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

①グループワーク（協働型学習）が中心になるため、他の人の話をよく聞き、協力する姿勢を大切にする。

②自分の考えをまとめて発表する活動では、聞き手側に伝わるよう留意する。

③提出物は完成した状態で、期限内に必ず提出する。

## 4. 宿題・課題・再試について

各活動で課題が必ず出される。

## 5. 評価の基準について

発表及び提出課題で評価をつける。各学期は 5 段階で評価し、学年末には「総合的な探究の時間」としてライフデザインと統合し、A・B・C の 3 段階の評価をつける。

## 6. その他

授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画	
学期	授業内容（教材）
一学期	Movie Project
二学期	Academic debate Project
三学期	Museum Project

## ライフデザイン(2022年度)

単位数	1単位
担当	学年教員全員
教科書	なし
対象生徒	高校3年

### 1. 授業の目標

人生のターニングポイントで、自分の満足し得る選択肢を見出すことが出来る力＝「人生を切り拓く力」を身に付ける。5つの分野（コミュニケーションスキル・キャリアプラン・マネープラン・ウィメンズライフ・ジェンダー）の活動を行う。

### 2. 副教材・参考書

なし

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ①グループワーク（協働型学習）が、中心になるため、他の人の話をよく聞き、協力する姿勢を大切にする。
- ②自分の考えをまとめて発表する活動では、人に伝わるように留意する。
- ③提出物は完成した状態で、期限を守って必ず提出する。

### 4. 宿題・課題・再試について

各活動で課題が必ず出される。

### 5. 評価の基準について

発表及び提出課題で評価をつける。各学期は5段階で評価し、学年末には「総合的な探究の時間」として Komajo Quest と総合して A・B・C の3段階の評価をつける。

### 6. その他

授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	期末	キャリアプラン ジェンダー 志望理由書 ジェンダーを考える
二学期	期末	マネープラン キャリアプラン キャリアプラン ライフプランニング 人生シミュレーション 憧れの人
三学期	学年末	ジェンダー 多様性について

単位数	4 単位
担当	菱山, 倉岡
教科書	高校生物基礎 新訂版(実教出版) 改訂 新編 化学基礎(東京書籍)
対象生徒	高校3年 選択Ⅲ(A B)

## 1. 授業の目標

看護師や栄養士を目指す生徒を主な対象とし、大学での生物や化学の講義を受けるうえで必要となる生物基礎、化学基礎の知識・技能を習得することを目標とする。

「生物基礎」の分野に関しては、基礎的な知識の習得はもとより、各単元において疑問を持ち、自ら解決しようとし、実験・観察結果をうけ考察できることを目指す。

「化学基礎」の分野に関しても、実験などを通して学習した知識をもとに、目の前の現象から何が起きているかを観察・推察する力や、実験結果を検証・考察する力の育成に尽力する。

## 2. 副教材・参考書

リード Light ノート生物基礎(数研出版)

リード Light ノート化学基礎(数研出版)

## 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に1・2年次に学習した内容を復習し、苦手な範囲や疑問点など明確にしてから授業に参加することが望ましい。
- ・各単元が終わった際には演習プリントや問題集で該当範囲の復習をする。疑問点があれば速やかに質問し、定期的に学習する習慣をつけること。
- ・試験前には放課後セミナーを実施する場合がある。試験の最終確認に活用すること。

## 4. 宿題・課題・再試について

- ・必要に応じて授業内の小テスト、調べ学習およびプレゼンテーション、実験およびレポート、宿題として課題を課す。取り組み状況によりパフォーマンス評価の加点対象となる。
- ・定期試験毎に授業ノートや問題集を提出してもらい、提出状況によりパフォーマンス評価の加点対象となる。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は再試を受験または課題を課す。再試の際の合格点は50点以上とする。

## 5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(60%)、パフォーマンス評価(40%)により評価をする。
- ・その合計点を平均点変動制の表を用いて、10段階の評価をする。
- ・パフォーマンス評価点は、小テスト、宿題・課題、実験レポート、発表などで評価する。

## 6. その他

- ・授業計画は予定であり、状況に応じて授業の進度の前後や変更をする場合がある。

授業計画

学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	<u>生物</u> 1章 生物の特徴 ・生物の多様性と共通性 ・細胞とエネルギー
		<u>化学</u> 1編 1章 物質の成分と構成元素 ・純物質と混合物      ・混合物の分離と精製      ・単体と化合物 ・元素の確認      ・物質の三態 2章 原子の構造と元素の周期表 ・原子の構造      ・電子配置      ・元素の周期表
一学期	期末	<u>生物</u> 2章 遺伝子とその働き ・遺伝情報とDNA      ・遺伝情報の分配 ・遺伝情報とタンパク質の合成
		<u>化学</u> 3章 化学結合 ・イオン結合, 共有結合, 金属結合 <u>2編</u> 1章 物質と化学反応式 ・原子量・分子量・式量      ・物質質量 ・化学反応式とその量的関係      ・溶液の濃度
二学期	中間	<u>生物</u> 3章 生物の体内環境とその維持 ・体内環境      ・体内環境の維持のしくみ
		<u>化学</u> 2章 酸と塩基 ・酸と塩基      ・水素イオン濃度とpH      ・中和反応と塩 ・中和滴定
二学期	期末	<u>生物</u> 3章 生物の体内環境とその維持 ・免疫 4章 生物の多様性と生態系 ・植生と遷移      ・気候とバイオーム      ・生態系と物質循環 ・生態系のバランスと保全
		<u>化学</u> 3章 酸化還元反応 ・酸化と還元      ・酸化剤と還元剤      ・酸化還元反応式 ・金属の酸化還元反応      ・酸化還元反応の応用
三学期	学年末	<u>生物</u> <u>ヒトの生物学</u> ・染色体異常      ・がん      ・再生医療
三学期	学年末	<u>化学</u> <u>ヒトの化学</u> ・三大栄養素とその代謝

国語演習(2022年度)

単位数	2単位
担当	新村
教科書	『大学入学共通テスト国語プレ演習』(いいずな書店) 『新演習現代文アチーブ2』(桐原書店) 『読解現代文必携キーワードの卵』 (尚文出版)
対象生徒	高校3年 選択Ⅲ(A)

- 授業の目標 読解力を高め、大学受験に対応できる力を身に付ける。
  - ①多くの問題演習を通して、読解力を高め、問題に的確に答えることができる。
  - ②共通テストの問題形式に対応する力をつけ、問題を解くことができる。
  - ③私大現代文の問題を時間内に解くことができる。
- 副教材・参考書
  - 『常用国語便覧』(大修館書店)
  - 『基礎から学ぶ 解析古典文法 [改訂新版]』(桐原書店)
  - 『基礎から学ぶ 解析古典文法 [改訂新版] 演習ノート』(桐原書店)
- 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等
  - ・1時間を現代文演習・1時間を古文・漢文演習とする。
  - ・現代文読解に必要な語彙力をつけるため、『読解現代文必携キーワードの卵』を使って小テストを実施。
  - ・漢文・古文については前回の学習事項の確認小テストを実施する。
- 宿題・課題・再試について
  - ・授業後に復習ノートを作成する。→パフォーマンス評価に含める。
  - ・『読解現代文必携キーワードの卵』を使っての小テスト→定期試験で出題+パフォーマンス評価
  - ・古典分野で前回学習した範囲は次週に確認テストを行う。→定期試験で出題+パフォーマンス評価
- 評価の基準について
 

定期試験の得点(70%)とパフォーマンス評価(30%)により評価をする。
- その他
 

授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	中間	『大学入学共通テスト国語プレ演習』 論理 第1回, 文学 第1回, 古文 第1回, 漢文 第1回 『現代文 アチーブ2』 <u>1</u> ・ <u>2</u> ・ <u>3</u>
	期末	『大学入学共通テスト国語プレ演習』 論理 第2回, 文学 第2回, 古文 第2回, 漢文 第2回 『現代文 アチーブ2』 <u>4</u> ・ <u>5</u> ・ <u>6</u>
二学期	中間	『大学入学共通テスト国語プレ演習』 論理 第3回, 文学 第3回, 古文 第3回, 漢文 第3回 『現代文 アチーブ2』 <u>7</u> ・ <u>8</u> ・ <u>9</u>
	期末	『大学入学共通テスト国語プレ演習』 論理 第4回, 文学 第4回, 古文 第4回, 漢文 第4回 『現代文 アチーブ2』 <u>12</u> ・ <u>13</u> ・ <u>14</u>
三学期	学年末	『現代文 アチーブ』 <u>15</u> ・ <u>16</u> ・ <u>17</u>

## ビジュアル・ヒストリー(2022年度)

単位数	2単位
担当	栗山 美緒, 深谷 真優
教科書	なし
対象生徒	高校3年 選択Ⅲ(A)

### 1. 授業の目標

これまでの歴史の授業とは異なる手法、角度、資料を用いて、私たちの社会について考察できるようにする。自分の持っている知識と、新しく得たものを繋げられるようにする。

各学期いくつかのテーマを設定し、世界史と日本史、時代や国の枠を越えて、現代で生きるということを1人1人が自分事に落とし込めるようにする。

〔中期目標〕 映像・資料等の内容を理解したうえで、自分の意見をまとめることができるようにする。

〔長期目標〕 現代社会で起きていること、世界情勢など諸問題を歴史的視野で見て考察できるようにする。

### 2. 副教材・参考書

なし

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

教科書の中のはるか昔の出来事だけが歴史なのではなく、今現在の私たちの生活もその一部なのです。

歴史を通して何が学べるのか。また、それを通じ私たちは何をすべきなのか。沢山のことを考えられる授業にしましょう。皆さんの積極的な姿勢を期待しています。

### 4. 宿題・課題・再試について

・学習状況に応じた宿題を随時課す。

### 5. 評価の基準について

・定期試験の得点(60%)、課題(20%)、発表(20%)により評価をする。

### 6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	期末	1. 歴史から考える「戦争と平和」 映像、写真等の資料から、戦争とはどのようなものか、それに至るまでの社会・国家の動きや人々の感情、細かい部分を見ていく。理解促進のため、適宜解説や講義を行う。 ロイロノートで意見や調べたこと等提出・発表を行う。 ワークプリントを仕上げて提出する。
二学期	期末	2. 日中の歩み 近隣の国家であるが、なかなか相互理解の進まない複雑な関係である中国。近現代の日中関係を通して学んでいく。理解促進のため、適宜解説や講義を行う。 ロイロノートで意見や調べたこと等提出・発表を行う。 ワークプリントを仕上げて提出する。
三学期	学年末	3. 実際の記録や文献を通して歴史をみる ドキュメンタリー作品等、歴史=過去・大昔の出来事、といった感覚ではなく今現在の現実の出来事なのだと理解し、現代の諸問題について考察する。 理解促進のため、適宜解説や講義を行う。ロイロノートで意見や調べたこと等提出・発表を行う。ワークプリントを仕上げて提出する。



## 英語演習 (2022 年度)

単位数	2 単位
担当	稲石、齊藤
教科書	CROSSBEAM 総合問題 Pre Standard
対象生徒	高校 3 年 選択Ⅲ(B)

### 1. 授業の目標

本講座を通して、英文に対する理解度を深めることを目標とする。

### 2. 副教材・参考書

CROSSBEAM 総合問題集 Pre Standard

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に教科書に目を通し、例題を解くなど予習をしてから授業に参加することが望ましい。
- ・授業が終わった内容は教材、宿題プリントで復習する。疑問点は質問し、放置しない。
- ・一般入試を利用して大学合格を目指す総合コースの生徒を対象とした授業で、発音・文法・語法  
整序作文・会話・リスニング問題などの総合問題を解いていく。
- ・レベルはスタンダードで、大学入学共通テスト、私大入試に合わせたものである。
- ・最近の傾向である口語体の英文を多く読めるようにしている。
- ・単に、得点力の強化にある。偏差値向上を目標にする。また一般受験を目指す強い意志を養う。
- ・不正解となった問題のケアを自己責任においてさせ、問題解決能力を養えるようにしていく。
- ・基礎の攻略が問題解法に繋がることを徹底して教えていく。
- ・リスニング問題は音声教材を使って実施する。

### 4. 宿題・課題・再試について

- ・教材、宿題プリントを毎回の宿題とする。提出状況によりパフォーマンス評価の加点対象となる。
- ・上記以外に必要なに応じてプリントを配布する場合がある。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は再試を受験する。合格点は50点以上とする。
- ・宿題は、授業内で指定。音読、リスニング、文法問題などを課す。

### 5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(基本問題 50%応用問題 30%)，提出物(20%)により評価をする。試験は期末試験のみ。

### 6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	期末	文型・文の種類 (Lesson1-5 ) ■ 物語 ■ リスニング→ダイアログ 時制 1 ■ 国際・表の読み取り ■ リスニング→モノローグ 時制 2 / 助動詞 ■ 人権・広告文 ■ リスニング→ダイアログ 文型・時制 ■ 動物・英作文 ■ リスニング→ダイアログ 受動態 ■ 文化 ■ リスニング→モノローグ
二学期	期末	不定詞・動名詞 1 (Lesson6-10) ■ 人権・広告文 ■ リスニング→モノローグ 不定詞・動名詞 1 ■ 環境 ■ リスニング→ダイアログ 受動態 ■ 生活・英作文 ■ リスニング→モノローグ 分詞 ■ 国際 ■ リスニング→モノローグ 関係詞 1 ■ 言語・広告文 ■ リスニング→ダイアログ
三学期	学年末	比較 (Lesson11-13) ■ 人物 ■ リスニング→モノローグ 比較・関係詞 ■ 環境・英作文 ■ リスニング→ダイアログ 関係詞 2 ■ 宇宙・図表の読み取り ■ リスニング→ダイアログ 学年のまとめ 復習問題など

## 時事問題探究(2022年度)

単位数	2単位
担当	永井俊道・壽福ちなみ
教科書	ニュース時事能力検定公式テキスト
対象生徒	高校3年 選択Ⅲ(B)

### 1. 授業の目標

新聞やニュース番組を通して、日本や世界の政治・外交・経済・環境・産業などについての知識と教養を養い、興味関心を高めることにより、現代社会の諸問題に関する考察力を身に着ける。

〔中期目標〕 6月と11月に行われるニュース検定を受験し、目標級に合格する実力を養う。

〔長期目標〕 現代世界の諸問題に対して、資料を集め、資料を通して自分の意見を論理的にまとめ、発表する力を養う。

### 2. 副教材・参考書

2022年度版 ニュース検定公式テキスト&問題集 基礎編(3・4級対応)(毎日教育総合研究所)

2022年度版 ニュース検定公式テキスト 発展編(1・2・準2級対応)(毎日教育総合研究所)

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

授業で扱うニュースについて事前に連絡するので、ニュースや新聞記事などに注意を払い、テキストの関連箇所を読みこむ。

新聞記事やニュース時事能力検定テキストを用いるので、必ず購入すること。

現代世界の諸問題に関する探究授業では、グループワーク・発表を行うので、自分の意見をきちんと発表できるようにしておくこと。

### 4. 宿題・課題・再試について

予習・復習課題や映像を見ての感想、生徒の発表の感想などを、ロイノートに提出する。

ニュース時事能力検定テキストをもとにした小テストも実施する。

試験の代わりにレポートを課すこともあるので、期限までにきちんと提出する。

ニュース時事能力検定を成績にも入れるので、積極的に受験する。

### 5. 評価の基準について

評価方法	割合	評価基準
発表・レポート ニュース検定	50	発表内容や発表の工夫および発表を聞く態度。 資料の扱い方やレポート内容と工夫。
提出物	20	授業ごとのまとめや作業の報告、予習復習内容
小テスト	20	1回20点の小テストの平均
授業での取り組み状況	10	授業姿勢やICT機材の使い方

### 6. その他

ニュースや事件の発生などにより、取り扱う内容が変わる

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	なし	<p>1、新聞記事やニュースを教材として講義する。            ニュース検定公式テキストを教材として講義する。            宜必要な記事とワークプリントを配布するので、ロイロノートに意見をまとめて提出したり、ワークプリントを仕上げて提出する。</p> <p>2、ニュース検定公式テキストをもとにした、テーマごとの探究学習と発表。            各自テーマを分担して、調べ学習ののちに発表する。</p> <p>3、ニュース検定の希望級の過去問題を解く。            ニュース検定公式テキストに沿って、小テストを実施する。</p>
二学期	なし	<p>1、新聞記事やニュースを教材として講義する。            宜必要な記事とワークプリントを配布するので、ロイロノートに意見をまとめて提出したり、ワークプリントを仕上げて提出する。</p> <p>2、新聞記事をもとにして、新聞を作製する。            新聞記事を集め、記事をもとにした内容を新聞仕立てにして発表する。            (5人程度のグループに分かれてお互いに発表する)</p> <p>3、ニュース検定に向けての問題演習と解説。            ニュース検定公式テキストに沿って、小テストを実施する。</p>
三学期	なし	<p>1、新聞記事やニュースを教材として講義する。            適宜必要な記事とワークプリントを配布するので、ロイロノートに意見をまとめて提出したり、ワークプリントを仕上げて提出する。</p> <p>2、政治外交分野をテーマとしたレポートを作成する。</p>

生物（2022年度）

単位数	4単位
担当	古屋
教科書	生物（実教出版）
対象生徒	高校3年 選択Ⅲ（CD）

1. 授業の目標

自然の事物・現象に対する関心や探求心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探求する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。

2. 副教材・参考書

アクセスノート生物（実教出版）

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

授業後に、その日に学習した内容について、教科書・ノートを見直し、問題集を解く。  
また、予習時に該当する生物基礎の知識を復習するように心掛ける。  
夏期セミナーを使い、教科書を進めることによって授業時間の補足を補う

4. 宿題・課題・再試について

宿題：授業毎に問題集を宿題として出します。長期休暇には、レポートなどの課題を出します。  
再試：定期試験に不合格の場合、再試または課題があります。

5. 評価の基準について

定期試験の得点（基本 50%、応用 30%）パフォーマンス評価（20%）により評価をする。  
パフォーマンス評価は、宿題、授業内課題、実験レポート、発表などで評価します。

6. その他

3学期にはテーマ別研究を行い、その内容をロイロノートにてまとめ、発表する。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	中間	第1章 生命現象と物質 1節 細胞と分子 2節 代謝
	期末	3節 遺伝情報の発現 第2章 生殖と発生 1節 有性生殖
二学期	中間	(夏季セミナー) 第5章 1節 生物の進化 第4章 2節 生態系 第2章 2節 動物の発生 3節 植物の発生
	期末	第3章 1節 動物の反応と行動 2節 植物の環境応答 第4章 1節 個体群とその変動
三学期	学年末	総復習 テーマ別研究・発表

## 日本史演習 (2022 年度)

単位数	4 単位
担当	誉田、根本
教科書	高校日本史 B (山川出版)
対象生徒	高校 3 年 選択Ⅲ(CD)

### 1. 授業の目標

- ・日本の近世～現代史を通して、現代日本と世界の情勢につながる要素・着目点を見つけさせ、問題解決や未来の日本や世界の展望を考える能力を養う。「世界の中の日本」という観点も理解させる。
- ・それぞれの出来事の因果関係を整理、考察させるなかで、物事における問題解決能力を培わせる。
- ・主体的に取り組み、積極的にさまざまな問題を考えさせ、論理的な思考力を培わせる。

### 2. 副教材・参考書

- ・新詳日本史 (図録) (浜島書店)

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・授業はその都度配布する授業プリントを用い、基礎的な用語を定着させ、出来事のまとめを行う。
- ・とくに近現代の日本史は理解するのがむずかしい用語 (言葉・仕組み) があるため、その都度教員に質問することや、iPad などを用いて調べ学習をすることが望ましい。
- ・「歴史は暗記科目」という先入観を捨て、出来事がなぜ起きたか、その結果どうなってしまったのかという見方を常に持つことが大切である (「因果関係」をまとめる)。

### 4. 宿題・課題・再試について

- ・適宜、定期試験対策として、小テスト・毎度授業後の練習問題を実施する。
- ・上記以外に必要なに応じて、プリントを配布する場合がある。
- ・原則、定期試験の結果が 30 点未満の場合は、再試を受験しなければならない。

### 5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点 (90%)、小テスト (4%)、宿題 (3%)、提出物 (3%) により評価をする。

### 6. その他

- ・授業計画はあくまでも予定であり、授業が早く進む場合がある。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	○第 8 章 幕藩体制の動揺 (享保の改革～化政文化)
	期末	○第 9 章 近代国家の成立 (開国と幕府の滅亡～明治維新)
二学期	中間	○第 9 章 近代国家の成立 (立憲国家の成立～近代の文化)
	期末	○第 10 章 二つの世界大戦とアジア (第一次世界大戦～第二次世界大戦)
三学期	学年末	○第 11 章 現代の世界と日本 (占領下の改革と主権の回復～現代の情勢)

## 世界史演習(2022年度)

単位数	4単位
担当	栗山
教科書	高校世界史 改訂版(山川出版社)
対象生徒	高校3年 選択Ⅲ(CD)

### 1. 授業の目標

- 世界の歴史を通して、現在の世界に繋がる要素を見つけるとともに、今日や未来の世界を展望していく力を培う。
- 今日の世界の文化や情勢を理解するための知識を身に付ける。
- 自主的、主体的に取り組む姿勢、積極的に考える姿勢を養い、論理的な思考力を身に付ける。
- 小テストや課題を活用して基礎学力を身に付け、記述形式の問題(論述を含む)に応用できる力をつける。
- クラスメイトとの意見交換やディスカッションを通して、自身の歴史観を磨く。

### 2. 副教材・参考書

- 新詳世界史図説 浜島書店
- 高校世界史基本用語問題集 ツインズマスター 山川出版社

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- 基本的な歴史事項を押さえ、記述問題や論述問題に対応できる力をつけましょう。
- 用語を正確に記すことを心掛けましょう。
- 歴史学は現在の世界を捉える際に、必要不可欠な要素をたくさん含んでいる学問です。日頃からニュース等に触れ、「学んだ歴史」と「現代の世界」のつながりを意識してください。
- 「なぜ」「どうして」という素朴な疑問を忘れずに、授業に参加しましょう。疑問の解決へ向けて、積極的な授業参加を期待しています。
- 受験対策として、長期休暇の際、近現代史や文化史を補完します。

### 4. 宿題・課題・再試について

- ツインズマスターを範囲とした小テストを実施する。
- 小テストの範囲の問題集を宿題とする。
- 適宜、発表や課題のための資料づくりを宿題とする。
- 定期テストの結果が30点未満の場合は再試を受験しなければならない。合格点は50点以上とする。

### 5. 評価の基準について

- 定期試験の得点(90%)、提出物・課題・小テスト(10%)により評価をする。

### 6. その他

授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	中間	第4章 イスラーム世界の形成と発展 ・イスラーム世界の発展 ・イスラーム化の進展 ・イスラーム文明の発展 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 ・西ヨーロッパ世界の成立
	期末	・東ヨーロッパ世界の成立 ・西ヨーロッパ中世世界の変容 第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 ・東アジア諸地域の自立化 ・モンゴルの大帝国
二学期	中間	第7章 アジア諸地域の繁栄 ・東アジア世界の動向 ・清代の中国と隣接諸地域 ・トルコ、イラン世界の展開 ・インド、東南アジア世界の展開 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 ・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革
	期末	・ヨーロッパ主権国家体制の形成 第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 ・重商主義と啓蒙専制主義 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 ・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン
三学期	学年末	第11章 欧米における近代国民国家の発展 ・ウィーン体制の成立 ・ヨーロッパの再編



## 検定英語講座 (2022 年度)

単位数	2 単位
担当	本間, 柳澤
教科書	『大学入試 4 技能試験対応 基礎力養成 コア表現トレーニング』『Interactive 4 Skills①CEFR A2 LEVEL』『Interactive 4 Skills②CEFR B1 LEVEL』 (旺文社)
対象生徒	高校 3 年 選択Ⅲ(C)

### 1. 授業の目標

英語民間資格・検定試験の共通テストへの導入は令和 6 年度 (2024 年度) 以降に延期される。本来この講座は新システムへの対応として設置されたものだが、差し当たっては、英語 4 技能評価の重要性に変わりはない。一年次から取り組んできた GTEC や実用英語検定などの外部英語試験に対応できるよう、アウトプットを中心とした演習を通して 4 技能を強化する。教科書は外部試験で頻出するテーマ、スタイルに特化したもので、少しずつ試験のスタイルに慣れさせる。また海外の英語学習サイトの教材を活用し、最新ニュースを題材に、リスニングや読解力の強化を目指す。

### 2. 副教材・参考書

『大学入試 4 技能試験対応 基礎力養成コア表現トレーニング・別冊まとめノート』 (旺文社)  
『大学入試 4 技能試験対応 基礎力養成コア表現トレーニング』 付属 CD  
オリジナルプリント

### 3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

予習は必要ない。その時間に集中して問題を解く。Quizlet など単語学習アプリでの復習を促す。ロイロノートなどの学習アプリで問題演習の解説を行ったり、動画作成をして提出させたりするので、タブレットを毎時持参すること。

### 4. 宿題・課題・再試について

授業で扱った素材について小テストを行い、内容把握の確認をすることがある。  
授業内にライティングテストを随時実施する。既習文法事項の定着を確認し、評価する。

### 5. 評価の基準について

・定期試験：定期試験期間または試験期間直前の授業内で、筆記試験での期末試験を行う。

評 価：定期試験[期末 x0.8]の点数に平常点 (パフォーマンス点 10 点、提出物 5 点、小テスト 5 点) を加えて全体の平均点を算出し、教務内規 (平均点変動型一覧表) の表に沿って 10 段階で評価する。  
学期に一度パフォーマンステストを行い、基準を設けて評価する。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「大学入試 4 技能試験対応 基礎力養成コア表現トレーニング (pp. 5-34) Lesson 1-15 イラスト描写問題, 自分のことを述べる問題</li> <li>● 『Interactive 4 Skills①CEFR A2 LEVEL』 日常会話/ とある人物のできごと/E メール・電話/掲示・広告・アナウンス</li> <li>● 英語で自己紹介ビデオ作り</li> <li>● ペアで英会話ビデオ作り</li> <li>● 英検 2 次スピーキング試験対策</li> <li>● ライティング演習</li> <li>● Breaking News English サイトの教材</li> </ul>
二学期	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「大学入試 4 技能試験対応 基礎力養成コア表現トレーニング (pp. 35-74) Lesson16-35 自分のことを述べる問題/質問・応答問題/客観的な意見を述べる問題</li> <li>● 『Interactive 4 Skills ① CEFR A2 LEVEL』 L5—L9, 物語/社会問題/ 環境・自然・生物 / 教育 /化学・テクノロジー</li> <li>● 『Interactive 4 Skills② CEFR B1 LEVEL』 L1 写真・グラフ・図表</li> <li>● 英検 2 次スピーキング試験対策、英語ニュース動画作成 (グループ)</li> <li>● ライティング演習</li> <li>● Breaking News English サイトの教材</li> </ul>
三学期	学年末	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「大学入試 4 技能試験対応 基礎力養成コア表現トレーニング」 pp. 75-84 Lesson 36-40 客観的な意見を述べる問題</li> <li>● 『Interactive 4 skills ① CEFR A2 レベル』 L10 歴史・文化</li> <li>● 『Interactive 4 Skills② CEFR B1 LEVEL』 L2-3 Eメール (ビジネスレター) ・電話 / 物語</li> <li>● ライティング演習、スピーキングテスト</li> <li>● Breaking News English サイトの教材</li> </ul>

## 音楽Ⅲ (2022 年度)

単位数	2 単位
担当	平田亮介
教科書	Joy of Music (教育芸術社)
対象生徒	高校 3 年 選択Ⅲ(D)

### 1. 授業の目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、感性を磨き個性豊かな音楽の能力を高め、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てる。
- (2) 音楽に対する感性をより豊かにし、表現の技能を伸長し、創造的に表現する能力を高める。
- (3) 世界の多様な音楽に対する総合的な理解を深め、幅広く鑑賞する能力を高める。

### 2. 副教材・参考書

リコーダーライブラリー

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・歌唱や器楽の授業ではクラスメイトと協力して授業を進めることがあるので協調性を大切に授業を受ける。
- ・授業で行った基本的な音楽の知識は授業内小テストでこまめな確認を行う。小テストの前にはプリント学習などを配布するので内容理解に努める。
- ・鑑賞などでは自分の言葉で詳しく書くことを大切にする。

### 4. 宿題・課題・再試について

提出物は基本的にロイロノートへの提出とする。

授業内小テストも定期試験と同様に点数が低い場合は再試を行う場合がある。

### 5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(基本問題 50%応用問題 30%)，提出物(20%)により評価をする。

### 6. その他

- ・授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は既習範囲の復習を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	歌唱 表現技法を高める (発声練習 ソルフージュ) 器楽 アンサンブル (G 線上のアリア 間奏曲) 鑑賞 西洋音楽の鑑賞 世界の諸民族の鑑賞
	期末	
二学期	中間	歌唱 弾き歌いに挑戦 (童謡の表現内容を理解し演奏する) 器楽 アンサンブル (島人ぬ宝) 鑑賞 オペラ (ラ・ボエーム)
	期末	創作 ファンファーレを作ろう
三学期	学年末	三年間のまとめ オリジナルコンサートを企画しよう

## 美術Ⅲ（2022年度）

単位数	2単位
担当	高橋 千草
教科書	美術Ⅲ 光村
対象生徒	高校3年 選択Ⅲ(D)

### 1. 目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

### 2. 副教材・参考書

特になし

### 3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・授業内で疑問を解決し、計画的に作品を完成できるような姿勢で参加することが望ましい。
- ・授業を欠席した場合は提出期限前までに放課後自主的に不足分を補う事が望ましい。
- ・課題制作の上で試行錯誤しながらも粘り強くチャレンジする姿勢が望ましい。
- ・課題は期限までに完成させ必ず提出する。

### 4. 宿題・課題について

- ・授業内で完成されない場合は宿題となる。

### 5. 評価の基準について

- ・各学期の課題（提出物100%）により評価をする。

### 6. その他

授業計画は予定であり進捗状況により課題の増減が起こる事もある。

リモート授業等で授業内容の変更あり

#### 美術Ⅲ授業計画

学期	授業内容
1学期	写真 装丁 静物画
2学期	静物画 ピクトグラム 自主製作・自画像表現方法は自由
3学期	自主製作・自画像表現方法は自由

年間を通して人物クロッキーを行う

## 書道Ⅲ(2022年度)

単位数	2単位
担当	酒井 篤史
教科書	書道Ⅲ(教育図書)
対象生徒	高校3年 選択Ⅲ(D)

## 1. 授業の目標

書道Ⅰ、Ⅱで養ってきた臨書力を生かし、書の美の要素を理解した上で、書の世界をより深く味わう表現力を身につける。

## 2. 副教材・参考書

プリント等・硬毛検定過去問

## 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

基本的に書道Ⅲは創作活動中心となる。  
様々な用具・用材を使い伝統文化に触れる。

## 4. 宿題・課題・再試について

基本的に4~6時間に一度、作品を提出する。

## 5. 評価の基準について

・作品制作の得点(80%)、ノート(10%)、発表など(10%)

## 6. その他

授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。

授業計画		
学期	教科書ページ	授業内容(教材)
一学期	P.28~29 P.30~31 P.58~61	1. 楷書「牛欄造像記」 2. 楷書「石門頌」 3. 漢字の書の作品制作
二期	P.78~81	1. 近現代の仮名の書 好きな漢字かな交じりの作品を臨書しよう 創作しよう
三期		1. 好きな仮名作品をを臨書しよう 仮名作品を創作しよう

英語表現Ⅱ (2022年度)

単位数	2単位 (Lenis 1 + 日本人スタッフ1)
担当	伊澤、柳澤、Lenis
教科書	Vision Quest E.E. II Hope (啓林館)
対象生徒	高校3年 選択(EF)

1. 授業の目標

英文を習得する際に重要となる文法的なポイントを学び、『自分の考えを英語で表現できる英語力』を養成する。

2. 副教材・参考書

FACT BOOK これからの英文法 (桐原書店)

3. 授業を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・Build-Up と Expression で学習する英文は頻出の英文なので何度も口頭練習し、正しく書けるようにしておく。
- ・『これは英語で何と言うのだろう』、と考える習慣をつける。

4. 宿題・課題について

- ・授業で学習した英文は、日本語から英語に再生できるように復習する。
- ・英語でプレゼンテーションをする機会が複数回あるので、積極的に取り組み、主体的に発表する。

5. 評価の基準について

- ・English speaker の評価 50% (発表)
- ・日本人スタッフの評価 50% (筆記試験・課題・授業内小テスト) 筆記試験は期末試験のみ
- ・以下の表のように観点別評価をつける。

6. その他

授業計画は予定であり、変更する場合がある。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	期末	VQ Lesson 5 仮定法 Lesson 6 名詞の後置修飾
	発表	Presentation Basics
二学期	期末	VQ Lesson 7 修飾する表現 Lesson 8 比較表現
	発表	Movie reviews
三学期	学年末	総復習
	発表	Total review

## 子ども学入門Ⅱ (2022 年度)

単位数	2 単位
担当	平田亮介
教科書	音楽通論 (教育芸術社)
対象生徒	高校 3 年 選択(E)

### 1. 授業の目標

- (1) 保育に関する職業を目標にする生徒を対象に音楽の基礎知識を身に付ける。
- (2) ピアノの奏法に必要な知識技術を身に付ける。

### 2. 副教材・参考書

なし

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・ 1 学期では音符の名前など超基礎的な内容から始まり、2 学期になって応用的な内容になっていくので 1 学期の授業内容をしっかりと身に付けておく必要がある。
- ・ 授業内テストが成績に大きく影響するのでしっかりと取り組み、理解を深めるように努力する。

### 4. 宿題・課題・再試について

- ・ 授業内試験 30 点以下は再試験とする。
- ・ 実技試験はリズム打ち、ピアノ演奏、弾き歌い等を実施。

### 5. 評価の基準について

筆記試験 (7 割) 実技試験 (2 割) 提出物 (1 割) により評価をつける。

### 6. その他

- ・ 授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は既習範囲の復習を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	第 1 部 第 1 章 音の長さ (音符、休符、付点音符、付点休符、拍子等) 第 2 章 音の高さ (五線、加線、音部記号、音名、派生音等) 第 3 章 記号 (強弱記号、速度記号、発想標語、反復記号)
	期末	童謡の旋律弾き歌い
二学期	中間	第 2 部 第 4 章 音程 (度数、種類、幹音・派生音による 2 音間の音程、転回音程) 第 5 章 音階 (長音階の仕組み、短音階の仕組み、五度圏、関係調)
	期末	第 6 章 和音 (和音記号、三和音、七の和音、転回) 童謡の伴奏弾き歌い
三学期	学年末	第 6 章 和音 (コードネーム) 童謡のコード伴奏弾き歌い

## Talking and reading (2022)

Credit	2 credits for the whole semester
Teacher	Rika, Inaishi
Main textbook	E-station (Cosmopia)
Target students	3 <sup>rd</sup> year high school students who chose this course(E)

### 1. Objectives for this lesson are as follows:

#### (1) The final goals for this lesson (This goals are common with talking and reading section.)

1. In all semesters, to improve the student's listening and understanding via the materials and English policy.
2. To improve the student's ability to express themselves easily with confidence.
3. In the 1<sup>st</sup> and 2<sup>nd</sup> semester respectively, to foster ability to answer Q and A format or tests and in the 3<sup>rd</sup> semester, we hope that students can show the ability to make a speech which will be done in front of everyone.※Students can use power point or iPad and so on in the class room for better presentations.

#### (2) In reading section, in all terms, the teachers will make students reflect what they are thinking about with regards to the story, how they are feeling, or make them create what they should add to the story after reading it. After they get used to reading stories, for example, we will let students summarize stories they read or pick their favorite part from the stories with the reasons why they chose them. Plus alpha, the teachers need to instruct how to write English sentences once again for understanding how to write English sentences better. We also need to reinforce the knowledge. Reinforcing the knowledge will increase the possibility that students can create good essays after completing this lesson.

### 2. Textbook • supplement text

E-station (Cosmopia)

### 3. Learning advice for better English learners

Learning advice for better English learners

1. Consistently study hard, not just during the test.
2. Listen, read, and shadow English words and sentences.
3. Making efforts through the year.

### 4. Lesson schedules and style, homework

Basically, paper tests might be done in the both sections, reflecting the previous year. This planning will be changed according to the reactions from students or the circumstances like the spread of covid-19 in the class room. (※This is the special case.) Mainly, the test will be presentation style or assignments students must submit to teachers to be graded for each semester. Or if we need to evaluate student's performance with paper-based style, we need to conduct a paper style test during the lesson or before the regular test. The test (talking and reading test) should be conducted as soon as possible.



5. Others

Lesson plan		
Term	Test	Contents for the lesson (Materials)
1 <sup>st</sup> term	Final of the term	<p>Topic for talking: Let's Learn English Lesson 52 Taking Chances or something about presentation. Food Cravings: They're All in Your Head</p> <p>Test for talking: Presentation in front of any other students or submission of the audio file for the presentation via Loilo note.</p> <p>Topic for reading: Sweet Surprises Topic for reading: The Popularity of Kimi no Na wa and another topics.</p> <p>Test for reading: paper test or submission of the file via Loilo note.</p>
2 <sup>nd</sup> term	Final of the term	<p>Topic for talking "How to write emails to friends and business emails.</p> <p>Test for talking: submission of the task on the designated sheet or loilo note and interview tests with Rika.</p> <p>Topic for reading "Something keep changing", "If you were invisible", "The history of Gogh", "Confectionery from Europe"</p> <p>Test for reading: paper test or submission of the file via Loilo note.</p>
3 <sup>rd</sup> term	Final of the term	<p>Topic for talking "Me in 10 years. Where do you see yourself in 10 years?"</p> <p>Test for talking: Presentation in front of any other students or submission of the audio file for the presentation via Loilo note.</p> <p>Topic for reading "A short story from We Met Online"</p> <p>Test for reading: paper test or submission of the file via Loilo note.</p>

## 小論文講座(2022年度)

単位数	2単位
担当	天野, 櫻田, 穂谷野, 渡部, 岩本, 中島
教科書	ステップアップ小論文(第一学習社) ステップアップ小論文ノート (第一学習社) チェック&ワーク(第一学習社) 小論文頻出テーマ解説集現代を知る puls (第一学習社)
対象生徒	高校3年 選択(F)

### 1. 授業の目標

新聞のコラムなどの優れた文章を教材にして、要約力や論理的に文章を展開する表現力を学ぶ。特に社会的テーマについて、進路に応じた指導を行いながら意見主張文を書く力を養成し、実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。  
授業を通じて「志望理由書」の書き方や受験に向けた小論文対策を行う。

### 2. 副教材・参考書

教科書の欄に同じ

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・「原稿用紙の使い方」を学び、受験に必要な「志望理由書」や「課題作文」や「小論文」を書く力を身につける。
- ・「コラムシート」や「小論文」などの課題の締め切りを守り、各担当の添削指導を受ける。
- ・定期試験(期末試験)では、添削指導によって指摘され箇所に気をつけて、時間内に指定の字数で文章を書き上げることを目標とする。

### 4. 宿題・課題・再試について

- ・「コラムシート」などの「課題」は提出締め切り日を守って提出する。
- ・「テキスト」や「小論文」は授業内の課題が時間内に完成しなかった場合のみ、再度指定された期日までに担当まで提出する。

### 5. 評価の基準について

- ・定期試験(80%)  
1学期 テーマ型 90分 800字/ 2学期 資料・データ型 80分 800字/ 3学期 テーマ型 70分 800字
- ・パフォーマンス評価(20%)  
コラムシート・課題小論文・外部コンクール・授業への取り組みなどにより、評価をつける。
- ・以下の表のように観点別表をつける。

### 6. その他

夏休みの課題として外部の「小論文コンクール」に参加することで社会問題の意識を高める。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス・原稿用紙の使い方</li> <li>・コラムシートの書き方・作文の書き方。</li> <li>・作文「高校生活で頑張ったこと」</li> <li>・小論文とは何か</li> <li>・小論文「地球温暖化」・「女性を取り巻く問題」</li> <li>・「志望理由書」の書き方</li> <li>・夏休みの課題配布と説明</li> </ul>
二学期	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ練習・スピーチ発表、評価</li> <li>・「テーマ型小論文」, 「データ型小論文」, 「進路別小論文」</li> <li>・3学期の「小論文テーマ」について話し合う。</li> <li>・3学期に向けて、「テーマ型小論文」を書く。</li> </ul>
三学期	学年末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ小論文(クラスごと)の返却</li> <li>・「創作コラム」のテーマを考える。</li> <li>・「創作コラム」600字(ロイロノートで作成)</li> <li>・「創作コラム」の発表。</li> </ul>

トレーニング論(2022年度)

単位数	2
担当	芦田
教科書	
対象生徒	高校2年・3年 選択(E)

1. 授業の目標  
トレーニングについて理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を具体的かつ行動的に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
2. 副教材  
プリント
3. 学習する上での留意点、アドバイス等  
単に1教科だけでなく関連の教材や積極的な学校生活が送れるようにする。  
日常生活で健康問題に遭遇した場合に活用できるように自らの心身への興味・関心を促す。
4. 再試について  
特になし
5. 評価の基準について  
試験の得点及びノート提出などのパフォーマンス評価を出して評価する。
6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	授業内	理論と実践 筋肉や骨格の名称 筋の構造(遅筋・速筋) トレーニングの原理原則 行動体力・防衛体力 筋肉とエネルギー 筋収縮、主働筋、拮抗筋、運動単位 関節角度と可動域 五輪アスリートの講演 トレーニングの種類 授業内試験 レポート課題提出
二学期	授業内	ウォーミングアップ&クールダウン コンディショニング 食事とトレーニング サプリメント 女性アスリートの3主徴 スポーツ傷害とその予防 第1回体力テスト(トレーニング論の授業用) トレーニング計画の立て方 授業内試験 レポート課題提出
三学期	授業内	第2回体力テスト 授業内試験 レポート課題提出

マナー講座 (2022 年度)

単位数	2単位
担当	中村, 中野, 永井
教科書	なし
対象生徒	高校2年・3年 選択(E)

1. 授業の目標

マナーは国や時代・文化によって異なるが、共通する点は相手を思いやる心である。

このマナー講座では、主に日本のマナーについて学び、日本文化を理解し、礼儀作法やマナーを身に付ける。3分野から構成されており、倫理・マナー分野では礼儀作法・敬語の使い方・メールの書き方・電話の応対、善や悪、マナーや道徳について学び、「より良く生きる」とはどのようなことかを学ぶ。

茶道では、作法を通して日本人が大切にしてきた文化、禅のこころ・茶のこころに触れ、日常生活の中に活かせることを目標とする。

華道では、日本の伝統的な文化の1つでもある華道の基本的な知識を学び、さらに今の生活の中で活かしていく工夫を知る。

2. 副教材・参考書

- ・なし

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・各学期において、授業内で疑問を解決し、計画的に提出物等を提出する姿勢で参加することが望ましい。
- ・茶道と華道については、「温故知新」、昔の智慧を学び、今に生かす姿勢が重要である。

4. 宿題・課題・再試について

- ・ノートや作品・発表の点数をパフォーマンス評価の対象とするため、必ず提出期限までに提出する。
- ・必要に応じてプリントを配布する場合がある。

5. 評価の基準について

- ・各学期の課題について、パフォーマンス評価（100%）として評価をする。

1 学期：茶道 25% 華道 25% 倫理・マナー50%

2 学期：茶道 25% 華道 25% 倫理・マナー50%

3 学期：茶道 25% 華道 25% 倫理・マナー50%

6. その他

授業計画			
学期	試験	分野	授業内容(教材)
第1学期	期末	茶道	1. 座学+ガイダンス 茶道についての基本的な知識、茶花、道具についての説明、お辞儀の種類、挨拶の仕方、茶道の発祥や流派についてを学ぶ。 2. 座学+ワークショップ 茶道について基本的な知識を学び、基本の作法をお稽古する。 (お辞儀の作法、足の運び、玄関からの入り方、お辞儀の仕方) 3. 実技 裏千家の基礎 盆略点前

		華道	<p>1. ガイダンス 華道の基本的な知識、道具の取り扱い方、お花ノートの書き方を学ぶ。</p> <p>2. ワークショップ+先生のデモンストレーション 華道の歴史や基本的な知識、生け方の基礎を学ぶ。 先生の生け方を見ながら基礎を学ぶ。 いけ終わった作品を見て、お花ノートの書き方を学ぶ。</p> <p>3. 池坊の自由花の基礎を学ぶその1 自分で生けてみて、先生に直していただき、お花ノートを書く。</p>
		倫理	<p>1. 倫理・マナー・道徳とは何だろう。</p> <p>2. 校内におけるマナー違反を考える。 校内のマナー違反の実態を探る→対策を考える。</p> <p>3. 校内のマナー違反と対策のプレゼンテーション</p>
第二学期	期末	茶道	<p>1. 実技 足の運び、襖の開け方、割り稽古(茶巾の扱い方、帛紗の扱い方、懐中の仕方、付け方、捌き方、茶筌通し、お茶碗の清め方、仕組み茶碗の仕方、お盆の持ち方のお稽古をする。</p> <p>2. お茶碗の持ち方、お茶の運び、お茶の頂き方、お菓子の頂き方のお稽古をする。</p>
		華道	<p>1. 池坊の自由花の基礎を学ぶ・その2 自分で生けてみて、先生に直していただき、お花ノートに書く。</p> <p>2. 池坊のミニチュア花器の基礎を学ぶ。 小さな空間でお花をいける基礎を学び、お花ノートに書く。</p> <p>3. 池坊の自由花の基礎を学ぶ・その3 自分で生けてみて、先生に直していただき、お花ノートに書く。</p> <p>4. アレンジメントの基礎を学ぶ 季節にあったアレンジメント作成を行い、お花ノートに書く。</p>
		倫理	<p>1. 倫理・マナー・道徳と宗教は、日本の社会のマナーとどのように結びついているか。</p> <p>2. 校内マナー向上のためのポスター作製</p> <p>3. 電話の対応を考えるー普段の言葉使いと配慮についてー</p> <p>4. 秘書検定の問題からマナーについて考える。</p>
第三学期	学年末	茶道	<p>1. 実技 裏千家の基礎 盆略手前</p> <p>2. お稽古を通して学んだこと、気づいた事のシェアをする。</p> <p>3. お客様としての作法(お菓子のいただき方、お茶のいただき方)をならう。</p>
		華道	<p>1. 池坊の自由花の基礎を学ぶ・その4 自分で生けてみて、先生に直していただき、お花ノートに書く。</p> <p>2. 池坊の自由花の基礎を学ぶ・その5 自分で生けてみて、先生に直していただき、お花ノートに書く。</p>
		倫理	<p>1. 仏教から経済を考えるーSDG s との関係からー</p> <p>2. マナー講座の映像から考える</p>

## プログラミング入門(2022年度)

単位数	2単位
担当	小川 哲平 関 真人
教科書	なし
対象生徒	高校2年・3年 選択(F)

### 1. 授業の目標

- ・プログラミング言語における種類ごとの特長の違いを理解し、アプリケーションの作成を目指す。
- ・情報の収集、処理、発信などの活用能力を身につける。

### 2. 副教材・参考書

- ・教員の作成した資料を使用

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・1/2/3学期と違うプログラミング言語を学びます。
- ・最初に学習するフローチャートは、プログラム言語が変わっても共通であるので身に付けましょう。
- ・1学期にフローチャートをしっかり理解すると、2学期以降の学習がスムーズになります。

### 4. 宿題・課題・再試について

- ・授業内で説明します。

### 5. 評価の基準について

- |      |  |
|------|--|
| 1学期： | } テストはありません。授業内の課題をこなし加点課題等にチャレンジしてください！ |
| 2学期： |  |
| 3学期： |  |

### 6. その他

- ・パソコン室で学習します。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	期末	プログラミング言語における基礎のフローチャートと JavaScript の立ち位置や役割を学ぶ。 ・フローチャートとプログラミングのソースが一致していることを学び、プログラミング思考を養う
二学期	期末	ヴィジュアルソフトの特長と VBA(VisualBasicforApplications)の立ち位置や役割を学ぶ。 ・フローチャートが基礎であることを確認し、VBA の特長や役割を学ぶ。
三学期	学年末	プログラミング言語における、コンパイル言語の特長と Swift の立ち位置や役割を学ぶ。 ・フローチャートが基礎であることを確認し、iPad を活用し Swift のプログラミングを通して、コンパイル言語の特長と立ち位置や役割を学ぶ。  ※実習・課題に関して 3年生は1月提出、2年生は3月提出

## コ・メディカル入門(2022年度)

単位数	2単位
担当	丸山 二見
教科書	
対象生徒	高校2年・3年 選択(F)

### 1. 授業の目標

看護・医療・福祉・心理系など将来の職業を目指す生徒を対象とする。

### 2. 副教材・参考書

学期ごとのプリント教材

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・コ・メディカルの職種に興味を持ち、積極的に取り組むことが望ましい。
- ・作品を作成する際は、自分の個性を十分に出せるものにする。
- ・実習は十分に行う。
- ・発表は事前練習をしっかりと行う。

### 4. 課題について

- ・単元ごとの課題はパフォーマンス評価の対象とするため、必ず提出期限を守る。

### 5. 評価の基準について

- ・発表・実技 30% 小テスト 40% 課題・作品 30% により評価をする。

### 6. その他

特になし

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	授業内	コ・メディカルとは オリエンテーション インフォームドコンセント 興味のある職種を調べて発表する 医療福祉問題について 齢社会の現状・高齢者を取り巻く医療とケア 認知症サポーター養成講座 外部講師
二学期	授業内	普通救命講習講座 座学・実技 疑似体験 車いす・松葉つえ・白杖・妊婦・手話 医療福祉問題について がんについて 外部講師 発表
三学期	授業内	健康寿命を考える 健康マスター検定 医療福祉問題について 臓器移植について 安楽死について



## 生活デザイン入門(2022年度)

単位数	2単位
担当	七島, 川里,
教科書	生活学 Navi (実教出版)
対象生徒	高校2年・3年 選択(F)

### 1. 授業の目標

実習を通して持続可能な社会を目指す。

家庭総合で習得した基礎を元に、自分なりにアレンジを施した個性的な作品を製作することができる。  
生活を豊かにするための知識や技術を習得する。

### 2. 副教材・参考書

副教材：「生活学 Navi 資料+成分表、動画」実教出版

実習：「手縫い教材」「型紙、フリース布地」

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

1学期：「日常生活についての課題」提出 「手縫い教材・お弁当袋」製作提出 「トートバッグ」製作

2学期：「トートバッグ」製作 「製作の記録（感想と自己評価）」提出 「パーカー」製作

3学期：3年→「パーカー製作」「実習の記録（感想と自己評価、フリースについて）」提出

2年→「パーカー製作」「実習の記録（感想と自己評価、フリースについて）」提出

「コンビニから見えること」レポート提出

### 4. 宿題・課題・再試について

1学期：日常生活に関する課題（新しい生活様式、食品の表示、理想の家、エコライフ）

「手縫い教材・お弁当袋」作品点

2学期：「トートバッグ」作品点、「製作の記録（感想と自己評価）」

「パーカー」作品の部分点

3学期：3年→「パーカー」作品の部分点、「実習の記録（感想と自己評価、フリースについて）」

2年→「パーカー」作品の部分点、「実習の記録（感想と自己評価、フリースについて）」

「コンビニから見えること」レポート

### 5. 評価の基準について

1学期：課題 60%、作品 40%

2学期：作品・記録 80%、パーカー20%

3学期：3年→作品・記録 100% 2年→作品・記録 80%、課題 20%

### 6. その他

進捗状況が変更した場合、作品の部分点・評価基準などを変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	なし	<p>生活学 Navi</p> <p>日常生活の課題</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大にともない始まった「新しい生活様式」について理解し、あらためて各自ができる事を考える。</p> <p>食品を購入する際に何を条件に選択しているか考え、正しい選択ができるようにする。</p> <p>将来の「理想の家」を作成する。</p> <p>持続可能な社会に向けてできる事を考える。（エコライフ）</p> <p>基礎縫い（手縫い）</p> <p>お弁当袋</p> <p>基礎的な縫製技術（手縫い）を身につける。</p> <p>ミシン縫い</p> <p>トートバッグ</p> <p>ミシン、備品の扱い方を習得する。バッグに適した布を選び、必要な材料を購入することができる。</p>
二学期	なし	<p>ミシン縫い</p> <p>トートバッグ</p> <p>自分なりにアレンジを施したバッグを自由に製作することができる。作品の自己評価・感想をまとめる。</p> <p>ミシン縫い</p> <p>パーカー</p> <p>型紙を用いて被服製作に取り組む。フリース素材の縫製技術を身につける。</p> <p>衣服の構成について理解する。</p>
三学期	なし	<p>ミシン縫い</p> <p>パーカー</p> <p>作品の自己評価・感想をまとめる。フリースの特徴について調べる。</p> <p>生活学 Navi</p> <p>コンビニから見えること</p> <p>多機能化するコンビニを知る。コンビニの現状を知る。最も売れるお弁当について考える。</p>